

生 — 奉仕精神を旺盛にする  
活 — 人の立場を深く理解する  
信 — 物を大切に  
条 — 礼儀作法を実践する

## 今後の予定

- 7月**
- 19日(金) 終業式  
オープンキャンパス準備
  - 20日(土) オープンキャンパス  
第2種電気工事士(技能)
  - 22日(月) 夏期課外(前半)開始  
1・2年(～7/31)  
3年(～8/7)
  - 26日(金) 3年学校紹介  
就職面談(～8/2)
  - 28日(日) 海外語学研修(～8/11)
  - 29日(月) 熊本時習館  
東京大学特別授業(午後)
- 8月**
- 6日(火) 3年学校紹介就職希望者  
直前指導
  - 8日(木) 3年河合マーク(～9)
  - 10日(土) 学校閉鎖(～18)
  - 19日(月) 学校交通安全日(641回)  
夏期課外(後半)開始(～22)
  - 23日(金) 3年面接強化指導(～9/14)
  - 1年スタディサポート  
(JSS・JS・F1・ST)
  - 2年学研ハイレベル  
公務員模試
  - 26日(月) 始業式  
1・2年到達度テスト(F・T)  
1・2年整理考査  
(JSS・JS・F1・ST)
  - 30日(金) 就職試験合格祈願式
  - 31日(土) 1年進路講演会  
(F・T出校日)  
1年2限(1・3)授業
- 9月**
- 4日(水) 就職応募書類発送  
センター試験説明会
  - 14日(土) 2・3年進連協マーク
  - 16日(月) 入社試験開始
  - 17日(火) 学校交通安全日(642回)
  - 18日(水) 避難訓練(LHR)
  - 24日(火) 前期末考査(～27)
  - 30日(月) 1・2年公務員ガイダンス  
読書週間(～10/5)
- 10月**
- 2日(水) 2年進路講演会(LHR)  
2T企業見学会(終日)
  - 5日(土) 文徳会スポーツ大会  
(40分4限授業)
  - 6日(日) 第2回英検1次  
第2種電気工事士(記述)
  - 7日(月) 2年就公模試(1)
  - 8日(火) 2Tインターンシップ(～10)
  - 9日(水) 3年進研記述
  - 11日(金) リスニング検定
  - 12日(土) 3年進研記述
  - 16日(水) 1T職業講話(LHR)
  - 17日(木) 学校交通安全日(643回)
  - 18日(金) 第2回漢字検定
  - 20日(日) 3年河合記述
  - 22日(火) 即位礼正殿の儀(祝日)  
※変更になる場合があります。

## 学年保護者会

1学年

7月13日、1・2学年合同で学年保護者会を開催しました。当日は大雨が降り、足元が悪い中でしたが、たくさん保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

全体会では学校長の話に続き、森崎生徒指導部長より、生活習慣・挨拶・清潔感・安全性という生徒指導の四つの目標、薬物の危険性、自転車マナーの遵守、保護者の皆様に学校警察連絡協議会の存在を知ってほしい旨の話をしました。

学年ごとの分科会では、コース別に生徒概況や今後の進路指導計画、二者面談の手応え、夏休みに取り組んでほしいことについて説明を行いました。とりわけ、今後は文系理系の



3学年

6月29日に3学年対象の保護者会を行いました。保護者の参加率は87パーセントと高く、関心の高さが窺われました。



最初に、体育館のメインアリーナで全体会を行い、荒木校長の挨拶の後、本田3学年主任から、受験に臨む心構えについてお話ししました。

「第一志望校を最後まで貫いてほしい。第一志望に進学し、刺激の多い環境に身を置いた生徒の方が、その後の可能性はより広まるようだ。それぞれ掲げた目標に対して、最後までやり切ってもらいたい。この学年は、チーム文徳で頑張ろうということに常に言い続けていく。それぞれの担任の下でタッグを組み、受験に臨んでほしい。特に、国公立の生徒は、3月の後期日程まで粘

7月13日、2学年保護者会を行いました。1学年と合同の全体会の後、2学年教育講演会として、壺湊塾進路部長の長井秀和先生を講師にお招きし、「高校2年生の今しておきたいこと」の演題でお話しいただきました。入試改革が取りざたされ、不安をおおるような情報が溢れる今だからこそ、正しい情報をしっかりと集め、子どもと同じ方向を向いて進むことがいかに大切かということ、熱をこめて語つ

「これからの時代、資格や免許の必要な仕事は残っていないが、資格だけでは食べていけない。大事なのは創造力(想像力)である。AIに負けない『生きる力』を身につけさせるために、教育や社会の現状を把握した上で子どもたちに寄り添うこと、子どものよき理解者であり、越えなければならぬハードルとなることが望まれる。子どもの成長のために誰よりも大きな存在は、親なのだ。マイクがいらぬほどの先生の熱弁に、保護者

最後に林田学年主任より、2学年も半ばとなった今、入試や就職を見据えて学校で取り組んでいるポートフォリオの現状や、この夏休みの過ごし方の重要性について話がありました。この後、各クラスでの学級懇談会を行いました。あいにくの天気でしたが、お出でいただいた保護者の皆様のおかげで、大変有意義な半日となりました。ありがとうございました。

## 開校記念講演会

7月5日に本校体育館にて開校記念講演会を行いました。チベットの歌手であるバィマヤンジン氏をお迎えして、「人はなぜ学ぶのか?」という演題でお話しいただきました。

バィマヤンジン氏はチベットの標高四千メートルを超える、ほとんどの人が文字の読み書きのできない小さな村で生まれ、大変苦しい環境の中で必死に勉強をして、数千倍の競争率を誇る中国国立四川音楽大学に入学されました。大学でも民族差別と戦いながら学業に励み、卒業後に同大学で教壇に立つた後、日本でも働きながら故郷に学校を設立なさいました。

現在では10の学校ができています。その問いに対する現時点での答えは、『困難な状況にも躊躇することなく挑戦する。』ということですが、今までは辛い状況下にいる時は、どうにかして脱出する方法を探し出すことに専念し、楽な道を選んできました。でもこれからは、強靱な精神を養うため、苦勞は必ず報われると信じて、厳しくても努力します。

私の今の一番の目標は大学に合格することです。志望校判定がE判定という厳しい現状ですが、先生のお話のお陰で『まだまだ挑戦すれば可能性はある。』と思えるようになりました。



「乗れば幸せがあります。」といった言葉に生徒たちは胸を打たれていました。





